

=====
** 日本学術会議ニュース・メール ** No.870 ** 2024/1/25
=====

1. 日本学術会議主催学術フォーラム 企画案の募集について
2. 【採用情報】学術調査員（非常勤）（国際）の募集を開始しました
3. 【御案内】2024年度国際交流基金賞について
4. HFSP 研究グラント（2025年採択）のガイドライン（募集要項）が公表されました

■-----
日本学術会議主催学術フォーラム 企画案の募集について
-----■

会員、連携会員の皆様へ

現在、日本学術会議主催学術フォーラムの企画案を募集しています。
以下をご確認いただき、お申込みください。

令和6年度第2四半期募集分

開催予定時期 : 令和6年7～9月
申込み締切 : 令和6年2月29日（木）

○必要書類・手続き等：以下のURLをご確認ください。

<https://www.scj.go.jp/ja/scj/kisoku/106.pdf>

■-----
【採用情報】学術調査員（非常勤）（国際）の募集を開始しました
-----■

【採用内容】

職 名 : 内閣府 日本学術会議事務局 上席学術調査員又は学術調査員
(非常勤)

採用予定者数 : 1名

採用予定日 : 令和6年4月以降（予定）（時期については応相談）

【業務内容】

(1) 日本学術会議が加盟する国際学術会議（ISC）やIAP(Inter Academy Partnership)等の国際学術団体や各国アカデミーに関する横断的な調査分

析、資料作成及び連絡調整

- (2) 日本学術会議が毎年度主催している「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議」に関する支援業務
- (3) 日本学術会議が事務局の一翼を担う Future Earth プログラムに関する調査分析及び関係機関との連絡調整
- (4) 上記以外で、日本学術会議が国際学術交流事業を実施する上で必要となる調査分析、資料作成及び連絡調整等

【勤務条件】

勤務地 : 東京都港区六本木7-22-34

勤務時間 : 週3日程度(応相談)

1日5時間45分(10:00~12:00及び13:30~17:15)

年次休暇は非常勤国家公務員の規程により付与

任期 : 令和7年3月31日まで(勤務状況によっては延長もあり)

給与 : 上席学術調査員 : 日額15,500円又は18,500円/

学術調査員 : 日額13,000円

(資格、経験等によりいずれか)

賞与・昇給・交通費無し

※上記の金額は、法律等の改正及び施行に伴って変更する場合がありますので、ご承知おきください。

【応募書類受付締切日】

令和6年2月9日(金)※消印有効

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34

内閣府 日本学術会議事務局参事官(国際業務担当)室

【募集要項】

https://www8.cao.go.jp/jinji/saiyo/sonota/20240125_scj.pdf

【御案内】2024年度国際交流基金賞について

同賞について、推薦依頼がありましたのでお知らせします。

国際交流基金賞は、学術、芸術、その他の文化活動を通じ、国際相互理解の増進や国際友好親善の推進に特に顕著な貢献があり、引き続き活動が期待される個人又は団体を顕彰している賞です。同賞にふさわしいと考えられるものがありましたら、ご推薦をお願いします。

募集〆切：2024年2月28日（水）（必着）

賞の概要及び推薦要領につきましては、以下ウェブサイトでご確認ください。

<https://www.jpf.go.jp/j/about/award/index.html>

■-----
HFSP 研究グラント（2025 年採択）のガイドライン（募集要項）が公表されました
-----■

新奇な異分野融合国際共同研究にチャレンジしたいあなたへ！

国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム機構（HFSP）は、異分野融合による国際共同研究チームを応援する HFSP 研究グラント（2025 年採択）のガイドラインを公表しました。

HFSP は、1989 年の創設以来 35 年にわたり、ライフサイエンス分野における革新的な国際共同研究を推進し、これまで HFSP 研究グラントでの研究支援を受けた研究者の中から 29 人ものノーベル賞受賞者を送り出しています。

子育て中のあなたにも優しい、HFSP 研究グラント獲得に挑戦してみませんか？

詳細は下記リンク先ページをご覧ください。

<https://www.amed.go.jp/news/program/20240109.html>

https://www.amed.go.jp/program/list/20/02/001_grants_.html

HFSP は、日本政府の提唱によって創設されたプログラムです。

AMED は HFSP を支援しています。

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式 Twitter

https://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等へ

の転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34